

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三 21 (第 2 次)」の推進について

上十三地域においては、「健康日本 21」「健康あおもり 21」を受け、早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、「栄養・食生活」「こころの健康づくり」「たばこ」「アルコール」に重点をおいた「健康上十三 21」を策定し、平成 14 年度より推進してきた。計画最終年の平成 24 年度に行った最終評価では、全体の 51%が目標達成、改善傾向となっている中、こころの健康づくりに課題が残っている。

「健康上十三 21 (第 2 次)」では、第 1 次計画の最終評価と当地域の課題を踏まえ、「自殺予防」の推進と「喫煙防止」「肥満予防」を柱とした生活習慣病予防対策を推進することとしている。

平成 30 年度は、過去 5 年間の取り組みを中間評価し、62 指標のうち全体の 51.6%が目標達成、改善傾向であったが、ほぼ半数が目標達成には届かない状況となった。達成していない指標に関しては、最終評価時に達成できるようにするとともに、今後は糖尿病対策を推進するための 3 指標を追加した 22 項目 65 指標をもとに最終評価に向けて「健康上十三 21 (第 2 次) 改定版に基づいて取り組んでいく。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会や研修会、会議等を通して市町村計画への支援を行った。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として保健所長が委嘱され、担当職員等と共に各市町村の推進協議会等へ出席し、市町村の健康課題及び対策について把握し、保健活動の推進に向け支援を行った。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	令和 2 年 10 月 21 日	こころの健康づくり部会	業務担当者
	令和 2 年 10 月 22 日	生活習慣病予防部会	業務担当者
	令和 2 年 10 月 29 日	母子保健部会	業務担当者
	令和 2 年 11 月 12 日	生涯健康づくり推進協議会	欠席
三 沢 市	令和 2 年 10 月 23 日	健康推進対策協議会	健康増進課長、地区担当者
野辺地町	令和 2 年 7 月 14 日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者
七 戸 町	令和 2 年 7 月 28 日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者、栄養士
六 戸 町	書面開催	健康づくり推進協議会	
	令和 3 年 3 月 12 日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
横 浜 町	令和 2 年 9 月 2 日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者
	令和 3 年 3 月 16 日	健康づくり推進協議会	地区担当者
東 北 町	令和 2 年 10 月 12 日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
六ヶ所村	書面開催	健康づくり推進協議会	

新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため、一部健康づくり推進協議会が中止・書面開催となった。

(4) 喫煙防止対策の推進について

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、「健康上十三21（第2次）」で重点的取り組みに位置付けている喫煙防止について、受動喫煙防止対策を推進するための研修会、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発及び空気クリーン施設等制度の登録を推進した。また、改正健康増進法（令和元年7月1日から部分施行、令和2年4月1日から全面施行）により、各施設での受動喫煙対策が義務となったことから、喫煙所の設置等受動喫煙防止に関する相談対応等により、普及啓発を行った。

ア 普及啓発（広報活動）

日時	場所	テーマ・内容	対象者 人数
令和2年 5月31日	上十三保健所、 十和田合同庁舎、 七戸庁舎	世界禁煙デーに関するポスターを掲示。	各庁舎職員、来庁者
令和2年 5月29日	上十三保健所、 十和田合同庁舎、 七戸庁舎	受動喫煙防止、禁煙、空気クリーン施設等に関するパンフレットをメール送信。	上北地域県民局職員
令和2年 5月31日 ～6月6日	十和田合同庁舎	世界禁煙デー、禁煙週間の周知及び受動喫煙防止に関する館内アナウンスを実施（1日2回）。	庁舎職員、来庁者
通年	十和田食品衛生協会総会、飲食店	十和田食品衛生協会総会、青森のおいしい健康応援店認定事業 PR 時に空気クリーン施設認定事業の PR を実施。	①十和田食品衛生協会 総会協会員 ②飲食店

改正健康増進法に係る普及啓発の取組としては、本庁主催研修の周知に感ずる説明や通知、第一種及び第二種施設の相談対応・リーフレットの配布を実施した。

イ 『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』・『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者等に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に「空気クリーン施設」の登録を促進した。また、平成29年度から本庁が実施している青森県健康経営認定制度に

より標記事業が促進されている。

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況 (令和3年3月末)

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	12	10	44	42	21	0	54	0	31	1	5	40	260
三 沢 市	7	4	9	21	10	4	38	0	5	1	4	29	132
野辺地町	4	4	13	15	4	5	7	0	5	1	1	56	115
七 戸 町	6	6	16	13	4	7	16	0	2	0	9	0	79
六 戸 町	3	3	14	6	1	4	7	0	2	0	1	1	42
横 浜 町	1	5	5	4	4	1	3	0	3	0	1	0	27
東 北 町	5	0	15	4	3	0	9	0	3	1	1	0	41
六ヶ所村	1	0	16	2	1	0	28	0	1	0	0	5	54
合 計	39	32	132	107	48	21	162	0	52	4	22	131	750

*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー等の車輛

*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった（分煙は認めず）。

*青森県のタクシーは、平成22年7月1日から全面禁煙となった。

(5) 糖尿病対策の推進について

糖尿病の早期発見、早期治療、発症予防、また、重症化予防の推進と、県民の健康意識向上を目的として、圏域の糖尿病に関する実態の把握と市町村の糖尿病性腎症重症化予防プログラム作成に向けた支援等を行った。

ア 糖尿病性腎症による新規透析導入患者のデータ収集（平成30年度から通年）

イ 市町村の糖尿病性腎症重症化予防プログラム作成に向けた支援（通年）：

青森県国保連合会小規模事業者支援事業において、六戸町の糖尿病性腎症重症化予防プログラムのセク性を支援した。

ウ 上十三保健所管内糖尿病対策研修会開催：新型コロナウイルス感染症対応のため中止。

(6) 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に研修会、役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期 日	場 所	内 容	備 考
1	令和2年 6月	上十三保健所	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業実施状況及び収支決算報告について 令和2年度事業計画について 事業計画（案）及び予算（案）について 令和2年度合同研修会について その他 	中止
2	令和2年 12月16日 ～28日	—	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業実施状況及び収支決算報告について 令和2年度事業計画について 事業計画（案）及び予算（案）について 情報提供 その他 	書面開催

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
令和2年 8月28日	横浜町 ふれあいセンター	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について グループワーク 「日頃の保健師活動で行っていること」 情報提供 「保健協力員の活性化に関する調査」 講師：青森県立保健大学健康科学部看護学科大学院准教授 千葉敦子氏 講演 「脳卒中の予防、発症から最新治療」 	中止

		講師：八戸市立市民病院血管内脳神経 外科部長 鈴木一郎氏	
--	--	---------------------------------	--

ウ 管内市町村保健協力員数

(令和2年4月末現在)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	194	六戸町	77
三沢市	105	横浜町	64
野辺地町	95	東北町	166
七戸町	175	六ヶ所村	58
		計	934名

2 母子保健事業関係

(1) 療育相談（肢体不自由児等）

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を保健所内で年4回実施した。 (令和2年度)

市町村名	相談人員	再 掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	18 (5)	4 (1)	2 (0)	12 (4)
三沢市	5 (2)			5 (2)
野辺地町	0			
七戸町	0			
六戸町	0			
横浜町	0			
東北町	0			
六ヶ所村	0			
管 外	0			
計	23 (7)	4 (1)	2 (0)	17 (6)

() は新規利用者再掲

(2) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児慢性特定疾患医療受診券交付時における面接や訪問、医療意見書により依頼があった児の状況把握等を行い、支援強化を図った。

(令和2年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	面接相談	電話相談
相談件数	0	0	5	5	15

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業（小児慢性特定疾病医療費助成事業）

長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に活かすことを目的とした制度である。

(H27.1.1 に法施行。旧事業：S49-H26 小児慢性特定疾患治療研究事業)

制度の見直しは継続的に行われており、令和元年7月現在、16疾患群762疾病（包括的病名を除く）が対象となっている。

ア 医療受給者証交付件数 新規18件

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、有効期限を1年延長し更新は行わなかった。)

イ 受給者数 171人 (うち2疾病認定者7人)

(令和3年3月末)

疾患 NO	市町村別		十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	ひまわり 手帳交付
	疾患群名	合計									
	合計	171 (23)	63 (7)	42 (7)	9 (2)	11 (1)	17 (3)	6 (0)	12 (1)	11 (2)	18
01	悪性新生物	21 (5)	9	5 (1)			2 (1)	1	2 (1)	2 (2)	4
02	慢性腎疾患	13	5	2	1	1	1	1	2		
03	慢性呼吸器疾患	6 (5)	1 (1)	4 (3)			1 (1)				1
04	慢性心疾患	42 (4)	17 (3)	6	2 (1)	4	4	1	4	4	3
05	内分泌疾患	42	17	10	2	3	4	2	1	3	4
06	膠原病	8	2	3			1	1	1		2
07	糖尿病	6	2	2					1	1	
08	先天性代謝異常	1		1							
09	血液疾患	5	1	1		2	1				
10	免疫疾患	0									
11	神経・筋疾患	12 (5)	4 (2)	4 (2)	2		1 (1)			1	2
12	慢性消化器疾患	10	4	2	1		2		1		
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	3 (3)	1 (1)	1 (1)		1 (1)					1
14	皮膚疾患	0									
15	骨系統疾患	0									
16	脈管系疾患	2 (1)		1	1 (1)						1

※ () 内は、重症、人工呼吸器装着者の人数を再掲

(4) 管内市町村妊婦連絡票実施状況

(令和2年度)

()は%

市町村名	妊娠届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別					指導方法別				妊婦連絡票の提出はないが、 保健指導を実施した数 M (M/A)	受理数 N	要連絡・指導 妊産婦連絡票	
				～ 11週	12～ 19週	20～ 27週	28週 ～	産後	窓 口	訪 問	電 話	そ の 他			妊 婦 o (o/N)	産 婦 p (p/N)
				d (d/C)	e (e/C)	f (f/C)	g (g/C)	h (h/C)	i (i/C)	j (j/C)	k (k/C)	l (l/C)				
十和田市	296	295 (99.6)	296 (100.0)	276 (93.2)	17 (5.7)	2 (0.7)	1 (0.3)	0	296 (100.0)	0	0	0	1 (0.3)	48	6 (12.5)	42 (87.5)
三沢市	315	307 (97.4)	313 (99.4)	293 (93.6)	13 (4.2)	3 (1.0)	3 (1.0)	1 (0.3)	308 (98.4)	0	1 (0.3)	0	8 (2.5)	74	20 (27.0)	54 (73.0)
野辺地町	42	41 (97.6)	43 (104.9)	37 (86.0)	6 (14.0)	0	0	0	43 (100.0)	0	0	0	1 (2.4)	3	0	3 (100.0)
七戸町	44	44 (100.0)	44 (100.0)	43 (97.7)	0	0	1 (2.3)	0	44 (100.0)	0	0	0	0	7	0	7 (100.0)
六戸町	67	67 (100.0)	68 (101.5)	64 (94.1)	4 (5.9)	0	0	0	63 (92.6)	0	5 (7.3)	0	0	8	2 (25)	6 (75)
横浜町	17	17 (100.0)	17 (100.0)	16 (94.1)	1 (5.9)	0	0	0	17 (100.0)	0	0	0	0	5	0	5 (100.0)
東北町	100	99 (99.0)	100 (100.0)	89 (89.0)	10 (10.0)	1 (1.0)	0	0	100 (100.0)	0	0	0	0	11	4 (36.4)	7 (63.6)
六ヶ所村	63	63 (100.0)	63 (100.0)	58 (92.1)	5 (7.9)	0	0	0	63 (100.0)	0	0	0	0	8	1 (12.5)	7 (87.5)
計	944	933 (98.8)	944 (100.0)	876 (92.8)	56 (5.9)	6 (0.6)	5 (0.5)	1 (0.1)	934 (98.9)	0	6 (0.6)	0	11 (1.2)	164	33 (20.1)	131 (79.9)

(5) 管内市町村未熟児情報共有システム実施状況

(令和2年度)

	低出生体重 児数		未熟 児等 出生 連絡 票受 理数	出生時体重					在胎週数			未熟児 等訪問 指導連 絡票発 行数
	未 児 育 療 請 数	熟 養 医 申 数		1000 g 未 満	1000 ～ 1500 g 未 満	1500 ～ 2000 g 未 満	2000 ～ 2500 g 未 満	2500 g 以 上	妊 娠 22～ 34週 未 満	妊 娠 34～ 37週 未 満	妊 娠 37週 以 上	
十和田市	30	18	13	1	3	4	5	0	8	3	2	11
三沢市	30	27	22	4	2	5	8	3	8	10	4	23
野辺地町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七戸町	4	5	4	2	0	2	0	0	3	1	0	4
六戸町	1	1	2	1	0	0	0	1	1	1	0	3
横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北町	5	1	3	0	0	0	2	1	0	0	3	2
六ヶ所村	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	77	53	44	8	5	11	15	5	20	15	9	43

(6) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制の整備を推進している。

ア 母子保健ネットワーク会議

会議開催を予定し、関係機関に事前に情報共有したい内容等についてアンケートを実施していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面開催となった。

期 日	場 所	資料送付先	内 容
令和3年 2月19日	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・管内8市町村 ・医療機関10施設 ・こどもみらい課 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1 令和元年度妊産婦情報共有システム実施状況について ・資料1-2 令和元年度未熟児情報共有システム実施状況について ・資料2 要連絡・指導妊産婦連絡票に係る6見守り（情報提供）の取扱いについて ・資料3 事前アンケートの意見について ・参考資料1 令和元年乳児死亡等について ・参考資料2 管内市町村の子育て世代包括支援センター等の設置状況について

イ 令和2年度市町村開催会議への支援

※会議等への出席なし。

(7) 産後うつ病の予防対策推進事業 —妊産婦支援体制整備事業—

当圏域の関係機関連携における課題や今後の取り組み等について協議、検討を行い、また、上十三地域の妊産婦及び乳幼児への切れ目ない支援を推進するため意見交換を実施する事で、市町村母子保健関係者等の虐待予防も視野に入れたハイリスク妊産婦等への支援に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

※実績なし

イ EPDS 等（虐待例）妊産婦のカンファレンス

※市町村でカンファレンスを実施するなど対応しており、保健所への相談件数はなかった。

(8) 乳幼児の虐待予防に関すること

市町村からの求めにより出席し、虐待予防に係る保健所の取り組みや子育て世代包括支援センター等に関する情報提供を行った。

ア 市町村要保護児童対策協議会への出席

市町村名	代表者会議	出席者
十和田市	令和2年7月6日	健康増進課長
三沢市	書面開催	—
野辺地町	令和2年6月30日	健康増進課長
七戸町	令和2年9月17日	健康増進課長
六戸町	書面開催	—
横浜町	令和2年7月29日	—
東北町	令和2年7月22日	健康増進課長
六ヶ所村	令和2年7月16日	健康増進課長

(9) 女性健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：随時

(イ) 担当者：保健師

相談件数	随時相談 実人員	0名 (延0件)
	電話相談 実人員	0名 (延0件)
相談内容	思春期女子の健康相談	0件
	妊娠、避妊に関する相談	0件
	不妊に関する相談	0件
	婦人科疾患、更年期障害に関する相談	0件
	メンタルケア	0件
	その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談	0件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請 85件 (実人員 62名)

(令和2年度)

	合計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	
申請件数	85	33	16	8	4	6	0	12	6	
実人員数	62	24	13	5	3	4	0	9	5	
	新規	26	9	4	4	0	3	0	4	2
	継続	36	15	9	1	3	1	0	5	3

(イ) 不妊専門相談センター利用者 0名

3 歯科保健事業関係

(1) 親と子のよい歯のコンクール

例年、一般社団法人青森県歯科医師会との共催により健康な歯をもつ親と子を表彰し、歯科保健に対する幼児や父母及び地域社会の関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度に行うこととなった。

(2) その他

青森県口腔保健支援センター、市町村主催の歯科保健に関する会議等に参加した。

期日	内 容	出席者
令和2年9月4日	十和田市の歯科口腔保健の推進に関する打合せ	蓬畑主幹
令和2年12月22日	三沢市の歯の健康づくり推進委員会	蓬畑主幹

4 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

喫食者の健康増進を図ることを目的に給食施設を巡回し、施設における栄養管理の把握及び改善指導等を実施した。また、給食施設の栄養管理担当者、調理従事者のスキルアップを図るため、管理栄養士、栄養士、調理師等を対象に研修会を開催した。

ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設				計		総計
			1回あたり50食以上提供する施設		1回あたり50食未満提供する施設				
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
巡回施設数	12	3	18	2	0	0	30	5	35
対象給食施設数	43	4	66	15			109	19	128

イ 研修会

期 日	方 法	対 象	対象数	内 容
令和3年1月26日～2月28日	講義動画の配信	給食施設の管理栄養士、栄養士、調理師等	231施設	1 食品衛生について 上十三保健所 生活衛生課 主幹 関合 美絵子 2 栄養管理について 上十三保健所 健康増進課 主査 船渡めぐみ

(2) 栄養成分表示、虚偽誇大表示に関する指導

ア 栄養成分及び健康の保持増進に係る表示指導

食品の栄養成分及び健康の保持増進に係る表示について、事業者等に対し相談及び指導を実施した。

相談：79、指導：0件

イ 栄養成分表示に係る講習等

栄養成分表示の義務化に向けた研修会において、講習を実施した。

期 日	会 場	参加者数	主 催
令和2年 10月16日	農産加工研究所	18名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター

(3) 食生活改善推進員の育成

管内食生活改善推進委員会の活動を支援し、組織の育成を図った。

ア 役員会・会長会議等

会議名	場 所	回数
三役員会	道の駅しちのへ	1回
監査会	道の駅しちのへ	1回
管内市町村会長会議	十和田合同庁舎 2階会議室	1回

イ 総会・研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は研修会を行わず、書面による総会を行った。

ウ 管内市町村食生活改善推進員数

(令和2年5月12日現在)

市町村名	会 員 数	市町村名	会 員 数
十和田市	168名	六戸町	28名
三沢市	94名	横浜町	27名
野辺地町	34名	東北町	60名
七戸町	23名	六ヶ所村	41名
		計	475名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 市町村栄養改善業務支援事業連絡調整会議及び研修会

管内市町村管理栄養士のスキルアップを目的に会議と研修会を開催した。

期 日	場 所	参加者数	内 容
令和2年 9月17日	市民交流プラ ザ「トワーレ」	11名	①研修伝達 ・地域母子保健研修会 「地域栄養活動～妊産婦から子ども～」 六ヶ所村保健相談センター 主事 角美宥氏 ②事業等説明 ・横浜町における学童の健やか力向上事業の取組 横浜町健康みらい課 管理栄養士 浜端小百合 氏 ・東北公衆衛生学会発表について 東北町保健衛生課 向井庸平 主査兼栄養士 ③意見交換 ・新型コロナウイルス感染拡大防止による保健 事業等の実施状況等について ・令和3年度上十三保健所管内市町村管理栄養 士研修会について

イ 市町村への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため各種保健事業等臨機応変な対応が求められたことから、管内市町村の栄養改善業務担当者が業務の参考にできるよう各市町村の栄養関係業務の対応状況等を取りまとめ、管内市町村に還元した。

(5) 青森のおいしい健康応援店認定事業

県民が外食等を利用する際に自分にあった適切なメニューを選択できるよう、肥満予防や食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加を踏まえた食事を提供している飲食店等を青森のおいしい健康応援店として認定した。

新規認定店舗数：7店（総数65店）

(6) 食育の推進

ア 普及啓発

(ア) 上十三保健所の屋外掲示板に食育月間PRポスターや「野菜料理を“+1品”運動」の旗、「塩分過剰摂取」「野菜の摂取不足」をテーマとした「だし活+だす活カレンダー」を掲示し、食に関する情報について、普及啓発した。

(イ) 上十三地区学校栄養教諭研修会

上十三学校栄養教諭協議会からの依頼を受け、管内の食育活動等について説明した。

日時 令和3年2月2日（火） 13:30～15:00

会場 三沢市学校給食センター

参加者 10名

5 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(令和2年度)

医療区分 市町村名	入 院				通 院
	小 計	措 置 入 院	医療保 護入院	その他	
十和田市	男	96	1	95	1,341
	女	93	0	93	
	計	189	1	188	
三沢市	男	27	3	24	686
	女	33	1	32	
	計	60	4	56	
野辺地町	男	15	1	14	190
	女	19	1	18	
	計	34	2	32	
七戸町	男	20		20	227
	女	22		22	
	計	42		42	
六戸町	男	13		13	171
	女	17		17	
	計	30		30	
横浜町	男	6		6	65
	女	5		5	
	計	11		11	
東北町	男	15		15	295
	女	21		21	
	計	36		36	
六ヶ所村	男	5		5	136
	女	7		7	
	計	12		12	
管 外	男	0		0	0
	女	4		4	
	計	4		4	
合 計	男	197	5	192	3,111
	女	221	2	219	
	計	418	7	411	

イ 精神障害者申請等処理状況

(令和2年度)

申請等別			指定医に よる診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
0	16	16	9	7	2	0	2

ウ 管内精神病院入院状況

(令和3年3月末)

医療機関名	精神総病床数	年度末現在入院患者数			
		合計	任意	医保	措置
十和田市立中央病院	50	15	11	4	0
十和田済誠会病院	250	188	120	68	0
高松病院	239	236	34	202	
三沢聖心会病院	140	75	66	9	
計	679	514	231	283	0

エ 精神科救急医療システム利用状況 (利用者の住所別)

(令和2年度)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
28	11	10	9	4	0	2	0	7	2	73

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数

(令和3年3月末)

	手帳所持者総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	788	177	428	183
三沢市	360	126	170	64
野辺地町	132	44	74	14
七戸町	141	35	82	24
六戸町	88	27	51	10
横浜町	43	15	21	7
東北町	174	42	103	29
六ヶ所村	82	26	45	11
計	1,808	492	974	342

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年9回(第3水曜日※10月、2月第3)

嘱託医：十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数

(令和2年度)

	総件数	再掲		
		定期	随時	電話
実数	80	11	11	58
延数	140	12	17	111

イ 目的別利用状況（延数）

（令和2年度）

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	1	2			1	1	1						3	3	12
随時	2						2							13	17

ウ 市町村別件数（延人数）

（令和2年度）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	9	2						1		12
随時	12	2	1	2						17

（4） 訪問指導状況

（令和2年度）

事業区分	保健師（相談員含む）			その他の職員			合計		
	一般	社会復帰	計	一般	社会復帰	計	一般	社会復帰	計
実人数	22		22			0	22		22
延人数	51		51			0	51		51

（5） 普及啓発活動

ア 自殺予防

心の健康づくりや高校における自殺予防教育を通して知識の普及・啓発を行った。

- ・高校における自殺予防教育の実施（1/26 1校1回 107名）。

YouTubeによる動画配信により、学校教員の協力のもと高校生のための自殺予防プログラムの講義・演習を行った。

- ・保健所ホームページへの掲載、保健所の玄関やベランダ、七戸庁舎や合同庁舎にのぼり旗設置。

自殺予防週間、自殺対策強化月間時に、保健所掲示板等を利用して普及啓発を実施

イ 青森多重債務被害等をなくす会（青森りんごの会）との協働事業

関係機関担当者会議 1回出席

ウ その他

会議、研修会等で相談窓口一覧、心の健康づくりに関するパンフレット等を配布

(6) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの支援を行った。

ア 精神障害者家族会の状況

	家族会	活動内容等	作業所等運営 (名称)
家族会	とわだ家族会 (十和田市)	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・学習会 ・会員間の交流 ・作業所等の運営 ・当事者の会への協力 ・管内合同の学習・交流会の実施 	
	さつき家族会 (三沢市)		
	山ざくらの会 (六戸町)		
	つつじの会 (東北町)		つつじ作業所
家族懇談会	野辺地町精神障害者家族懇談会		
	七戸町精神障害者家族懇談会 →平成26年度活動停止		
	横浜町精神障害者家族懇談会		

イ 精神障害者家族会の活動及び支援状況

名称	回数	内容
上十三地区 精神障害者 家族学習交流会	0	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止。

ウ 回復者クラブの活動状況

名称	きざきのクラブ (三沢市)	ひまわりの会 (横浜町)
会員数	4名	4名

エ 精神保健福祉ボランティアの活動状況

名称	会員数	活動内容
駒の会 (十和田市)	11名	○自主的な活動を継続している。 ・定例会の実施 ・「サロンおあしす」の実施 ・心のひろば「ルピナス」へ参加 ※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。 平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。
さつき友の会 (三沢市)	9名	○自主的な活動を継続している。 ・「サロンひだまり」の実施 ・きざきのクラブ (回復者クラブ) の活動協力 ・青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会活動等 ※平成14年4月に組織化

オ 民間団体

名 称	内 容
特定非営利活動法人 ワークハウスとわだ	十和田市や医療機関等関係機関と連携し、自主的な活動を行っている。

(7) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議（所内）

期 日	開催内容	出席者
令和 2 年 5 月 28 日	令和 2 年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、 健康増進課長、 健康増進課員
令和 3 年 3 月 4 日	令和 2 年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
上十三地域生活支援 打合せ会	令和 2 年 10 月 8 日	話題提供「事例の地域移行支援の進捗 や課題」 話題提供者：地域活動支援センター アセンドハウスセンター長 高橋 孝明 氏 事例の地域移行にあたっての意見交換 地域移行支援ツール(パンフレット作成 等)の検討	7 名 病院精神保健福 祉士 相談支援事業所 市町村職員
上十三地域精神科救 急医療システム連絡 調整委員会	書面開催 書類等 送付日 令和 2 年 12 月 3 日	報告事項:精神科救急医療システムの運 営状況について 情報提供: ア 新型コロナウイルス感染症関係打 合せについて イ A I C O N (アイコン) 派遣につい て ウ 青森県の新型コロナウイルス感染 症又は感染が疑われる精神疾患患者 への医療提供方針について	15 名 連絡調整委員会 委員 (上十三医師会、 救急医療施設、警 察署、消防本部、 地域家族会)
令和 2 年度上十三地 域・産業保健連携推 進研修会	令和 2 年 11 月 10 日 書面開催	<送付資料> ①行政説明資料「上十三地域の自殺の現状 と労働者のメンタルヘルスの取組状況に ついて」 ②活動紹介 1 「メンタルヘルス対策の取り	17 施設 管内空気クリーン 施設登録事業所・ 健康経営認定事業 所 17 施設

		<p>組みについて」</p> <p>青森県みちのく警備保障株式会社 代表取締役 蛭澤 達彦氏</p> <p>③活動紹介2「2020年度メンタルヘルス対策の取り組みについて」</p> <p>六ヶ所エンジニアリング株式会社 衛生管理者 鈴木 洋平氏</p> <p>④講演資料「労働者のメンタルヘルス対策について」</p> <p>青森県公認心理士・臨床心理士協会 盛田 沙織氏</p> <p>⑤その他 パンフレット等</p>	
--	--	---	--

ウ 市町村の自殺対策協議会等への出席 14回

十和田市 3回、三沢市 0回、野辺地町 0回、七戸町 2回、六戸町 3回
東北町 0回、六ヶ所村 0回

県、保健所の自殺対策の取組み状況や自殺統計等について情報提供

エ ケース会議等

措置入院患者等が退院後も地域で治療を継続できるよう精神科医療機関でのケア会議
に出席、処遇困難事例についてケース会議を開催した。

会議名	場 所	回数	備 考
精神障害者 ケース検討会	医療機関	20回	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、関係者が退院後の治療の継続や生活支援について検討 ・関係者が処遇困難ケースの支援について検討
	市町村	3回	
	その他	0回	

6 難病関係

(1) 新たな難病の医療費助成制度

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が定める疾病(指定難病)に対して、一定の認定基準を満たしている方を対象に、その治療に係る医療費の一部を助成し、医療費の負担軽減を図ることを目的とした制度である。

平成27年1月1日に「難病の患者に対する医療費等に関する法律(難病法)」が施行され、医療費助成の対象となる疾病(指定難病)が難病法施行前の56疾病から110疾病に拡大した。

さらに、平成27年7月からは306疾病、平成29年4月からは330疾病、平成30年4月からは331疾病、令和元年7月からは333疾病、令和3年11月からは338疾病に拡大した。

ア 特定医療受給者の状況(市町村別)

(令和3年3月末)

疾患番号	疾患名	市町村								
		管内計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
	合計	1297	485	265	114	125	87	30	129	62
2	筋萎縮性側索硬化症	21	9	4	4	1	1		1	1
4	原発性側索硬化症	1	1							
5	進行性核上性麻痺	21	8	4	2	1	3		3	
6	パーキンソン病	161	64	25	11	21	6	5	21	8
7	大脳皮質基底核変性症	5		4		1				
8	ハンチントン病	2		1		1				
11	重症筋無力症	35	12	10	2	1	4		2	4
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	31	12	7	4	2	3	1	2	
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	6	3		3					
17	多系統萎縮症	19	10	4		1	2	1	1	
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	179	97	22	10	26	7	1	15	1
19	ライソゾーム病	1			1					
21	ミトコンドリア病	3	1	2						
22	もやもや病	9	4	3	1				1	
23	プリオン病	1			1					
26	H T L V - 1 関連脊髄症	1						1		
28	全身性アミロイドーシス	1								1
34	神経線維腫症	1	1							
35	天疱瘡	1							1	
37	膿疱性乾癬(汎発型)	5	2	1	1				1	
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	1							
40	高安動脈炎	8	1	2	1		2			2
41	巨細胞性動脈炎	1				1				

疾患番号	疾患名	市町村								
		管内計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
42	結節性多発動脈炎	2							1	1
43	顕微鏡的多発血管炎	12	4	4				2	1	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	1				1				
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	1	2	1			1	1	
46	悪性関節リウマチ	9	3		3	2	1			
47	バージャー病	5	1	2	1					1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	1							
49	全身性エリテマトーデス	68	23	18	6	4	7	3	2	5
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20	5	4	2	3	1	1	3	1
51	全身性強皮症	14	2	3	4	3	1		1	
52	混合性結合組織病	16	8	3	1		1		1	2
53	シェーグレン症候群	5	2	3						
54	成人スチル病	4	2	2						
55	再発性多発軟骨炎	3	1	1					1	
56	ベーチェット病	15	5	2	3	1	2		2	
57	特発性拡張型心筋症	7	4	1					1	1
58	肥大型心筋症	10	4	2		1	1			2
60	再生不良性貧血	11	5			2		1	1	2
61	自己免疫性溶血性貧血	1			1					
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1					1			
63	特発性血小板減少性紫斑病	22	11	3	1	1	2		2	2
65	原発性免疫不全症候群	1			1					
66	IgA腎症	12	3	6	1	1				1
67	多発性嚢胞腎	13	7	4				1	1	
68	黄色靭帯骨化症	6	3		2				1	
69	後縦靭帯骨化症	51	18	12	1	4	6	1	6	3
70	広範脊柱管狭窄症	6	2	1					1	2
71	特発性大腿骨頭壊死症	24	4	5	1	7	1	1	4	1
72	下垂体性ADH分泌異常症	3	1	1	1					
74	下垂体性PRL分泌亢進症	6	2	2	1				1	
75	クッシング病	1	1							
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5	2		2		1			
78	下垂体前葉機能低下症	16	5	3	2	1	2		3	
84	サルコイドーシス	18	8	6	1			1	1	1
85	特発性間質性肺炎	16	2	3	1	3		1	3	3
86	肺動脈性肺高血圧症	6	2	1	3					

疾患番号	疾患名	市町村								
		管内計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
88	慢性血栓性肺高血圧症	5	2				1		2	
90	網膜色素変性症	17	5	3		2	1	1	4	1
93	原発性胆汁性胆管炎	12	4	3	1	2	1		1	
94	原発性硬化症胆管炎	1		1						
95	自己免疫性肝炎	5		2		1			2	
96	クローン病	71	19	16	7	12	5	4	4	4
97	潰瘍性大腸炎	165	59	27	16	11	19	3	25	5
98	好酸球性消化管疾患	2					2			
107	若年性特発性関節炎	2	2							
113	筋ジストロフィー	12	2	7	1					2
117	脊髄空洞症	2		2						
127	前頭側頭葉変性症	1		1						
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1		1						
158	結節性硬化症	1		1						
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）	4		1	1		1		1	
171	ウィルソン病	3	1	1					1	
209	完全大血管転位症	1							1	
218	アルポート症候群	1								1
220	急速進行性糸球体腎炎	1				1				
222	一次性ネフローゼ症候群	22	6	8	3	4			1	
224	紫斑病性腎炎	2		1	1					
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1							1	
235	副甲状腺機能低下症	1		1						
266	家族性地中海熱	1	1							
271	強直性脊椎炎	3	3							
276	軟骨無形成症	1			1					
280	巨大動静脈奇形（顔部顔面又は四肢病変）	1				1				
283	後天性赤芽球癆	1		1						
296	胆道閉鎖症	1	1							
300	IgG 4 関連疾患	4	3		1					
304	若年発症型両側性感音難聴	2		2						
306	好酸球性副鼻腔炎	17	8	3		1	2			3
331	特発性多中心性キャッスルマン病	2	1		1					

イ 特定医療受給者の状況（年齢別）

（令和3年3月末）

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				～ 9 歳	～ 19 歳	～ 29 歳	～ 39 歳	～ 49 歳	～ 59 歳	～ 69 歳	～ 70 歳 以上
	合計		1297	3	7	71	108	167	181	245	515
2	筋萎縮性側索硬化症		21					1		12	8
4	原発性側索硬化症		1								1
5	進行性核上性麻痺		21							6	15
6	パーキンソン病		161					3	5	29	124
7	大脳皮質基底核変性症		5								5
8	ハンチントン病		2						1	1	
11	重症筋無力症		35		1		2	4	8	7	13
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎		31			2	7	11	5	4	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー		6						2	1	3
17	多系統萎縮症		19					1	3	4	11
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）		179				1	4	6	26	142
19	ライソゾーム病		1					1			
21	ミトコンドリア病		3			1	1				1
22	もやもや病		9		1	1	2		3	2	
23	プリオン病		1								1
26	H T L V - 1 関連脊髄症		1				1				
28	全身性アミロイドーシス		1								1
34	神経線維腫症		1						1		
35	天疱瘡		1								1
37	膿疱性乾癬（汎発型）		5		1			1	2		1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群		1			1					
40	高安動脈炎		8				3		1	3	1
41	巨細胞性動脈炎		1								1
42	結節性多発動脈炎		2					2			
43	顕微鏡的多発血管炎		12					1	1	1	9
44	多発血管炎性肉芽腫症		1								1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		6						2	1	3
46	悪性関節リウマチ		9					1	2	2	4
47	バージャー病		5			1			2	2	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群		1				1				
49	全身性エリテマトーデス		68			5	12	20	10	12	9
50	皮膚筋炎／多発性筋炎		20		1	1		3	5	6	4
51	全身性強皮症		14					1	3	4	6
52	混合性結合組織病		16			1		5	4	3	3

疾患番号	疾患名	年齢階層 合計	0	10	20	30	40	50	60	70
			～ 9 歳	～ 19 歳	～ 29 歳	～ 39 歳	～ 49 歳	～ 59 歳	～ 69 歳	歳 以上
53	シェーグレン症候群	5				1	1	1	1	1
54	成人スチル病	4						1	3	
55	再発性多発軟骨炎	3					1	1	1	
56	ベーチェット病	15			1	1	5	1	5	2
57	特発性拡張型心筋症	7			1		1	1	2	2
58	肥大型心筋症	10			2			5	2	1
60	再生不良性貧血	11				1	1	1	5	3
61	自己免疫性溶血性貧血	1								1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1								1
63	特発性血小板減少性紫斑病	22			1	3	2	5	1	10
65	原発性免疫不全症候群	1					1			
66	IgA腎症	12				3	2	4	2	1
67	多発性嚢胞腎	13				1	3	5	3	1
68	黄色靱帯骨化症	6						1		5
69	後縦靱帯骨化症	51				1	5	7	5	33
70	広範脊柱管狭窄症	6					2		1	3
71	特発性大腿骨頭壊死症	24			1		3	5	10	5
72	下垂体性ADH分泌異常症	3			1	1	1			
74	下垂体性PRL分泌亢進症	6				3	2	1		
75	クッシング病	1			1					
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5					1	1	2	1
78	下垂体前葉機能低下症	16			2	1		3	4	6
84	サルコイドーシス	18				3	1	5	6	3
85	特発性間質性肺炎	16						2	6	8
86	肺動脈性肺高血圧症	6			1			2		3
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5					1	1	1	2
90	網膜色素変性症	17					1	1	5	10
93	原発性胆汁性胆管炎	12				2	2	2	3	3
94	原発性硬化症胆管炎	1				1				
95	自己免疫性肝炎	5					1		3	1
96	クローン病	71		2	21	15	15	11	5	2
97	潰瘍性大腸炎	165			14	27	33	34	32	25
98	好酸球性消化管疾患	2				1	1			
107	若年性特発性関節炎	2			1	1				
113	筋ジストロフィー	12			1	4	5	2		
117	脊髄空洞症	2				2				

疾患番号	疾患名	年齢階層 合計	0	10	20	30	40	50	60	70
			～ 9 歳	～ 19 歳	～ 29 歳	～ 39 歳	～ 49 歳	～ 59 歳	～ 69 歳	～ 70 歳 以上
127	前頭側頭葉変性症	1								1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1	1							
158	結節性硬化症	1			1					
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）	4		1						3
171	ウィルソン病	3			1	1	1			
209	完全大血管転位症	1			1					
218	アルポート症候群	1			1					
220	急速進行性糸球体腎炎	1								1
222	一次性ネフローゼ症候群	22			4	2	7	5	1	3
224	紫斑病性腎炎	2					1		1	
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1								1
235	副甲状腺機能低下症	1						1		
266	家族性地中海熱	1				1				
271	強直性脊椎炎	3			1					2
276	軟骨無形成症	1								1
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	1			1					
283	後天性赤芽球癆	1								1
296	胆道閉鎖症	1				1				
300	IgG 4 関連疾患	4					1	1		2
304	若年発症型両側性感音難聴	2	2							
306	好酸球性副鼻腔炎	17				1	6	5	5	
331	特発性多中心性キャッスルマン病	2					1		1	

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため難病訪問相談員による訪問、上十三地域難病対策連絡会議及び医療相談事業の開催を見合わせた。

(3) 保健師による訪問指導

(令和3年3月末現在)

疾患群	疾患名	実件数	延件数
神経・筋疾患	2 筋萎縮性側索硬化症	7	14
	6 パーキンソン病	5	5
	11 重症筋無力症	1	1
	17 多系統萎縮症	3	3
	18 脊髄小脳変性症	3	3
骨・関節系疾患	69 後縦靭帯骨化症	1	1
	276 軟骨無形成症	1	1
消化器疾患	93 原発性胆汁性胆管炎	1	1
合 計		22	29

(4) 重症難病患者在宅療養支援事業

ア 目的

人工呼吸器を装着して在宅療養を行っている重症難病患者の介護を行う者が、疾病、冠婚葬祭や休息等の理由により当該患者を在宅において介護することができない場合に、円滑に適切な医療機関に一時入院できるよう体制整備するとともに、やむを得ない事情により一時入院が困難な患者に対しては看護人を派遣することにより、患者の安定した在宅療養の確保と患者及びその家族の生活の質の向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数

一時入院の期間は同一年度で患者一人あたり14日を限度とする。

看護人の派遣の期間は、患者一人当たり月7時間以内とし、利用回数は月2回まで分割することができる。

ウ 登録・利用者 3名（看護人派遣：1名、一時入院：1名）

(5) 健康相談状況

面接及び電話による随時健康相談を実施している。また、新規及び継続の医療受給者証交付申請や変更等の手続きや受給者証交付時に、個別面接相談及び電話による相談等にも対応している。

(令和3年3月末)

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
114件	33件	81件

(6) 患者会の育成・自主活動支援

特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」は、会員の高齢化と新規加入者がいないことにより平成30年3月末で解散。

(7) 関係機関との連携

- ・ケア会議：2回（筋萎縮性側索硬化症2回・在宅療養に係る検討）
- ・関係機関連絡：医療機関ソーシャルワーカー、居宅介護支援事業所職員、市町村保健師等と個別ケースの連絡等、必要時関係機関と情報共有して支援した。

(8) 災害基本法に基づく「避難行動要支援者名簿」作成のための難病の特定医療受給者に関する個人情報の提供等について

依頼のあった2町（横浜町、東北町）に提供した。

7 石綿（アスベスト）に関すること

（１）普及啓発

環境再生保全機構により送付されたポスター、リーフレットを保健所内に掲示し、住民に対しての周知を行った。

（２）相談・健康被害救済申請受付

石綿（アスベスト）関連事業場周辺にいた住民の健康不安に対応するため、健康に関する問題について相談を受け、石綿による健康被害を受けた方が生活・療養等の補償が受けられるように、被害救済給付申請に係る情報提供を行った。

《相談受付実施状況》

- ・ 健康相談 0件
- ・ 給付申請 0件

8 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉包括ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1) 上十三地域橋渡し連携・パスネットワーク委員会

本委員会は、上十三地域の保健、医療、介護を必要とする状態の方が、住み慣れた地域で、最後まで自分らしい人生を送るために適切なケアやサービスが受けられるよう、退院調整や情報提供を行い、また、地域で療養されている方が医療機関に入院する場合にもスムーズに移行できるように、関係機関（医療機関と介護サービス事業者、行政など）の地域連携担当者が連携を推進し、調整を行うことを目的としている。平成25年度から十和田市立中央病院が事務局となり、委員会を開催し、当総室は委員として参加している。

ア 委員 19名

委員の所属は、十和田市立中央病院、十和田第一病院、公立野辺地病院、公立七戸病院、高松病院、六戸町国民健康保険診療所、三沢市立三沢病院、メディカルコート八戸西病院、居宅介護支援事業所えがお、十和田市高齢介護課、十和田市東地域包括支援センター、十和田市北地域包括支援センター、十和田市西南地域包括支援センター、十和田市健康増進課、七戸町地域包括支援センター、六戸町地域包括支援センター、東北町地域包括支援センター、上十三保健所

イ 会議出席状況

期 日	場 所	内 容
令和2年 8月6日	十和田市立中央病院 別館2階会議室	1. 議案 在宅まるごと外来について 在宅医療・介護連携推進事業について 十和田市立中央病院附属とわだ診療所 実績・事例報告 2. 情報交換

(2) 介護予防事業及び市町村支援

延べ11回（十和田市6回、野辺地町2回、六戸町1回、東北町2回）

各市町村の地域ケア会議等へ委員として出席し支援した。

(3) 上十三保健所管内認知症地域連携促進事業

二次医療圏単位で、認知症に係る地域連携の課題の抽出や問題解決に向けた検討を行い、早期発見・早期対応のための体制整備や医療・介護の連携を推進することを目的として開催していたが、令和2年度はCOVID19の感染拡大状況に鑑み中止となった。

(4) 上十三圏域医療介護連携調整実証事業

入院している要介護（要支援）状態の方が医療機関を退院する際に、医療機関とケアマネジャーとの間で着実な引継を行うために、医療機関、居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所のケアマネジャー、市町村（地域包括支援センター）が協議を重ね、平成29年3月に退院調整のためのルールを策定し、それ以降モニタリングを実施している。令和2年度市町村担当者等会議はCOVID19の感染拡大状況に鑑み中止した。

ケアマネアンケートを実施した結果、令和2年度の退院調整もれ率が14.5%と改善していたため、病院・ケアマネ協議は実施なし。

9 人材育成

(1) 新任保健師研修

「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、管内市町村及び上十三保健所に在籍するキャリアレベル A-1 から A-2 までの保健師を対象に研修を実施した。(キャリアレベルは、青森県保健師活動指針(2019年3月改訂)43ページに記載の「青森県保健師の標準的なキャリアラダー(専門能力)」に基づくものである。)

ア 対象者

1年目保健師：六戸町1名、六ヶ所村1名

2～4年目保健師：十和田市2名、三沢市7名、野辺地町1名、七戸町1名、六戸町1名、横浜町1名、東北町1名、六ヶ所村3名、保健所2名

イ 実施状況

回数	期 日	内 容	参加者数
1	令和2年 10月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講話「地域における保健師活動について」 (青森県保健師活動指針改訂から) ・ 事例検討 「個人/家族への公衆衛生看護技術のための ケースメソッドプログラム」 ・ 意見交換 「やってみよう、地域診断 ～目的と進め方について～」 	4名
2	令和3年 3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講話「先輩保健師から新任保健師や後輩保健師に 伝えたいメッセージ」 講師：十和田市健康福祉部 部長 佐々木 操氏 十和田市民生部国民健康保険課 課長補佐 下田 智子氏 上十三保健所健康増進課 課長 松坂育子氏	16名

(2) 保健所保健師の育成支援

保健師の個々の能力に応じた人材育成を推進することを目的に、青森県保健師活動指針(改訂)及び「人材育成支援ツール」に基づき、キャリアレベルの到達状況等を確認し、人材育成を図った。

(3) 新任等保健師育成支援

保健所及び市町村の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援し、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的として実施した。

実施市町村（青森県新任等保健師育成支援事業）

市町村名	対象	トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
六戸町	1年目 1名	平塚 美加子氏	15日
六ヶ所村	1年目 1名	北山 つね子氏	15日

(4) 保健師連絡会議

管内保健師の資質の向上と保健師間の情報の共有を図り、連携を強化して管内の保健活動を推進することを目的に開催した。

回数	期 日	内 容	参加者数
1	令和2年 8月26日	①情報提供「新型コロナウイルス感染症に対する保健所の取組等」 ②情報交換 「これまでの振り返りと今後の対応」	市町村12名 保健所 3名
2	令和2年 10月5日	保健活動に使えるナッジ講座 ①すぐに使える楽しいナッジ ②ナッジ理論を活用したゼロフリクションの社会へ	市町村10名 団体 2ヶ所

(5) 保健所管理栄養士の育成

「青森県行政栄養士の人材育成指針・公衆栄養活動プログラム」に基づき、行政職員としての基礎知識と公衆栄養専門職としての基礎知識及び技術の習得を目的に、2年目の管理栄養士を対象に実務を通して育成を図った。